



気仙沼市 津波避難ワークショップ(2015/10/28)

場所：気仙沼市 鹿折小学校

参加者：安倍助手（東京海上日動 寄附研究部門），牧野嶋（M2）

前回（10/02）、前々回（8/27）に開催された、気仙沼市鹿折地区を対象とした第一、二回目の津波避難ワークショップに続き、10/28に同地区を対象とした最終回（第三回目）の津波避難ワークショップが開催され、当研究室から、安倍助手と牧野嶋（M2）が参加しました。

第一回目では、東日本大震災時の当該地区の避難行動の振り返りが行われ、第二回目では、第一回目WSでの議論を受けて、住民の方々によって、被災後の現状での津波避難計画（今後の津波避難に備えた避難場所、避難経路など）について話し合われました。今回のWSは、これまで議論をまとめた鹿折地区の暫定版津波避難計画の最終確認が行われました。WSのはじめには、当研究所も関わった鹿折地区での津波避難シミュレーションを用いた避難検討例も紹介されました。

これまでのWSで議論されたことがまとめられた地図を囲んで、主に、議論された項目（今後使用する避難場所、避難経路）が反映されているかどうか、また、地図中の避難場所の名称が、地図の配布が予定される地域の方にとって分かりやすい表現になっているかどうかの確認が行われました。最後には、地図に掲載する、後世に伝えたい震災の教訓についても議論され、「シンプルでインパクトがあるものを」という意見も聞かれました。



津波避難シミュレーションの取り組み紹介



暫定版地図を囲んだ確認、議論



震災を踏まえた住民の方々の教訓（案）